

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年の予定として飲料原料微生物検査法の展開と告知、学術発表、芽法形成条件のデータベース化等を検討している。 <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カビ分析のスタンダードプロトコル作成に関して、2 月 20 日に第 4 回会議を実施。次回は 2018 年 6 月に島津製作所様にて、NITE が開発した糸状菌（Aspergillus）の分析法やノウハウについて、実技を含めた勉強会を開催予定。 <p>(3) チルド勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外ガイドラインの読み合わせを中心とした勉強会の開催を計画中。 <p>(4) 検査法標準化プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今期よりキックオフ。参画メンバーで参集し、今後の方向性について議論予定。 <p>(5) NGS プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/1 締め切りで最終原稿調整中。確定後、速やかに投稿される。 <p>2. 2018 年度第 1 回部会全体会議を実施（2/28）</p> <p>ニチレイ東銀座ビルで開催し、34 名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017 年 12/15 実施の公開シンポジウム総括 ・ 各分科会活動の進捗報告 ・ ILSI 本部総会参加報告 ・ 勉強会：「DNA/RNA シークエンス用ポータブルデバイス MinION の技術と今後の展開について」オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ社の宮本真理様にご講演いただいた。
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会：進捗なし。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会</p> <p>6/20 島津製作所本社にて微生物同定講習会を開催予定。</p> <p>講師：NITE/NBRC、島津製作所</p> <p>(3) チルド勉強会</p> <p>6/8 ILSI Japan 会議室にて勉強会および打ち合わせの予定。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト：進捗なし。</p> <p>(5) NGS プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終原稿が完成した。プロジェクトメンバーで参集し、東京海洋大学にて木村凡先生より報告会を実施予定。（5/31） <p>2. 2018 年度 第 2 回部会全体会議 予定（5/22）</p> <p>不二製油（株）阪南事業所で開催予定。</p> <p>勉強会：神戸大 石川周先生、元東洋食品研究所 青山好男先生に講師をお願いしている。</p>

<p>5, 6 月</p>	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会：進捗なし。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 6/20 実技を含む講習会を島津/京都で開催予定だったが、大阪北部地震を受け延期。 7/13 にキューピー（株）にて座学講習会を開催予定。</p> <p>(3) チルド勉強会 6/8 ILSI 会議室にて、今後の勉強会内容と活動に関する打ち合わせを実施した。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト：進捗なし。</p> <p>(5) NGS プロジェクト プロジェクトメンバーで参集し、東京海洋大学にて木村凡先生より最終原稿の内容についての報告会を実施した（5/31）。最終原稿について英文誌に投稿されると ILSI Europe より連絡があった。 公開シンポジウムの開催に向け、準備を進めていく予定。</p> <p>2. 2018 年度 第 2 回部会全体会議（5/22） 不二製油（株）阪南事業所で開催した。 30 名＋不二製油社員 36 名の計 66 名参加。 勉強会：「ロイコノストックとは？」神戸大 石川周先生、 「高温性嫌気性芽胞菌への脂肪酸エステル作用」元東洋食品研究所 青山好男先生 の 2 講師から講演いただいた。</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会：進捗なし。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 7/13 にキューピー（株）にて座学講習会を開催した。参加者は 27 名＋講師陣 8 名の計 35 名であった。情報交換会は 26 名の参加。講師として NITE の川崎先生、千葉大の伴先生、島津製作所の寺本先生にセレウスや糸状菌の識別同定、MALDI 同定技術について御講演いただいた。</p> <p>(3) チルド勉強会 耐熱性試験等について検査法標準化プロジェクトとの協働を考えている。勉強会及び活動に関する打ち合わせを 10 月に開催予定。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト 進捗なし。チルド勉強会との協働予定。</p> <p>(5) NGS プロジェクト 進捗なし。公開シンポジウムの開催に向け、準備中。</p> <p>2. 2018 年度 第 3 回部会全体会議（8/27） キューピー（株）仙川キューポートで開催した。 部会・勉強会は 51 名の参加、意見交換会は 32 名の参加であった。 勉強会： 「MALDI バイオタイパーの認証取得と IR バイオタイパーについて」ブルカー社 宮脇様、 「生ビール製造における微生物検査法の開発」アサヒグループホールディングス(株) グ</p>

	<p>ループ食の安全研究所 鈴木所長、 「ナノポアシークエンサーを用いた迅速な細菌種の組成解析」 東海大学 医学部 今西先生、 上記の3講師からご講演いただいた。</p>
9, 10 月	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会 進捗無し。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 NITE との協働研究体制について契約延長を検討中。</p> <p>(3) チルド勉強会 10/12 ILSI 会議室にて、勉強会（セレウス菌制御について及び今後の活動に関する打ち合わせを実施した。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト 検査法標準化プロジェクトの一環として、チルド勉強会活動の中で「セレウス菌耐熱性試験法の評価」に取り組む。</p> <p>(5) NGS プロジェクト 3/6 公開シンポジウムの開催に向け、演者と演題が概ね確定した。当日のプログラム案等について準備中。</p> <p>2. 次回研究部会開催について 11/20 (株)明治 明治イノベーションセンターにて第4回部会を開催予定。勉強会講師として元・日本缶詰びん詰レトルト食品協会 駒木先生にボツリヌス菌について講演いただく予定。</p>
11, 12 月	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会 12月上旬に関係者で打ち合わせを実施。統一検査法の普及に向けて2019年3月末を目途に活動を継続し、その結果も踏まえてさらに継続するか判断する予定。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 11/1 に NITE と打ち合わせを実施し、現在結んでいる連携体制をさらに2年間（2021年3月末迄）継続する方向で合意した。 また2/1、8実施のNITE主催MALDI実技研修へのILSI参加枠設定や、2/15の情報交換会開催を調整した。</p> <p>(3) チルド勉強会 活動の一つとして耐熱性試験法検証案を取り纏め、参加企業を募った。また、ボツリヌス菌制御に関する活動に興味を持つ企業に呼びかけて日本缶詰びん詰レトルト食品協会大久保先生を訪問し、ボツリヌス菌の制御手段や接種試験についてお話をうかがった（12/26）。</p> <p>(4) NGS プロジェクト Food Microbiology 誌に投稿していた総説が無事受理された。 3/6 公開シンポジウムの開催に向け、準備中。ILSI Japan ホームページ上でプログラムを公開し、参加募集を開始した。</p> <p>2. 2018年度 第4回部会全体会議（11/20） (株)明治 明治イノベーションセンターにて部会を開催した。部会および勉強会に30名、意見交換会に25名の参加であった。 明治様のご協力で研究所内の見学会が実施された。</p>

<p>勉強会講師として元・日本缶詰びん詰レトルト食品協会 駒木先生にボツリヌス菌について講演いただいた。豊富な事例を交え歴史的な経緯を辿りながら、下記の内容についてご講演いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none">・国内のボツリヌス食中毒の発生状況・国内の容器包装詰殺菌食品の法的規制の現状・ボツリヌス菌接種試験の概要・加工食品におけるボツリヌス菌接種試験
--